



四 気 折 々

川越町立川越中学校
学校だより 第28号
平成31年1月10日

四気＝川越中校訓「やる気 ほん気 こん気 げん気」

豊かな創造力

始業式での校長講話に係る「災い転じ福となす」ための知恵や工夫を生み出す潜在能力が、川中生には十分備わっていることを感じ取ることができました。それは、「ものづくり」に関することで、昨年12月27日（木）に四日市市文化会館で開催された経済産業省認定日本産業教育振興会組合主催「第12回技術・家庭科ものづくり作品展」に校内優秀作品を多数出展することができたことによるものです。出展作品は技術・家庭科及びクリエイティブ部で製作されたものです。そのうち、2人の作品が、平成31年1月26日（土）～27日（日）に東京方面の会場にて開催される全日本中学校技術・家庭科研究会主催・文部科学省等共催「第19回全国中学生創造ものづくり教育フェア」（裏面参照）への出展作品として選出されました。出展作品については写真にて掲載（本紙下欄）しましたのでご覧ください。

なお、本校の輝きは、受賞等された生徒だけではなく、普段の授業を真面目に取り組んでいる全校生徒によるものです。よい環境の中で、よいものが生まれることは必然なのです。川中生のみなさんには、3学期はもとより新しい時代につながっていくことを意識して、毎日を精一杯取り組んでください。また、保護者の皆様には、今まで通り、本校に対するご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

【3年 駒田拓哉さんの作品】



《作品名》 パスサッカー

《作品の工夫点》

カムの回転の動きがどのようにしたら滑らかに動力伝達できるか考えました。足の動きが滑らかになるように、踵をカーブさせました。サッカーボールは形を決めてから中心をくり抜くのではなく、穴をくり抜いてからその穴が中心になるように周りを削りました。

《作品の製作を振り返って》

はじめは全く良いアイデアが思い浮かばずに困っていて、居残りをしている時に思いついたのが、この作品でした。サッカーボールの運動がうまく転がるようにするのが難しかったです。

【1年 神門未有さんの作品】



《作品名》 カラフル時計

《作品の工夫点》

塗料の色が派手になりすぎないように、木そのものの色を間に使いました。

時計の針と数字を黒く塗ることで、色を引き締めました。

《作品の製作を振り返って》

とても楽しいものでした。しかし、その中で、どうやったら良いものになるかを考えて、取り組むことができました。

友達と協力して、作品を仕上げることもできたので、とても感謝しています。

